

1 国語

学校番号	T3010
------	-------

令和3年度 国語科

教科	国語科	科目	国語総合	単位数	2	年次	1
使用教科書	『高等学校 改訂版 新編国語総合』（第一学習社）						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ

- ・言語活動能力を高めることを目指す。
- ・毎日出席し、日々の課題は原則としてその日のうちに提出する。
- ・必要に応じて教科書以外の教材を扱うこともある。

2 学習の到達目標

- ・適切に表現し、的確に理解する能力を育成する。
- ・伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばす。
- ・言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深める。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観 点	a:関心・意欲 ・態度	b:話す・聞く能 力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観 点 の 趣 旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主 たる 評 価 方 法	・出席状況 ・行動の観察(授業態度や発言等) ・記述の点検(ワークシート)	・行動の観察(授業態度や発言等)	・記述の確認(ワークシート) ・提出物(ワークシート等)の点検 ・定期考査	・行動の観察(授業態度や発言等) ・記述の確認(ワークシート) ・提出物(ワークシート等)の点検 ・定期考査	・記述の確認(ワークシート) ・提出物(ワークシート等)の点検 ・定期考査 ・小テスト等
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。					

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
4月	生活の中の表現	「日本語のこころ」 ・論理的要素を持つ随想を的確に読解する。 ・身近な表現から、言葉を通して日本人の発想や心情などを理解する態度を養う。 ・日本語の特徴について考え、我が国の文化と外国の文化との関係に気づく。	○	◎	◎	◎	○	a: 語句や表現に注意して文脈を捉え、書き手の考えなどを、間違いなく、過不足無く読み取ろうとしている。 b: 何のために、誰に向かって、どのような条件で話すのかを考えている。 c: 文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方を書いている。 d: 語句や表現に注意して文脈を捉え、書き手の考えなどを、間違いなく、過不足無く読み取っている。 e: 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化について理解している。	・出席状況 ・行動の観察(授業態度や発言等) ・記述の点検(ワークシート) ・提出物(ワークシート等)の点検 ・定期考査 ・小テスト等
5・6・7月	小説を読む	「羅生門」 ・近代の代表的な小説を読んで、読解力を養う。 ・登場人物の性格・心理・行動を的確に読み取る。 ・時代小説という形の中に普遍的な人間心理が描かれていることを理解する。 ・感想文を書いて作品鑑賞を深める。	○		◎	◎	○	a: 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。 c: 対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書いている。 d: 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。 e: 文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	・出席状況 ・行動の観察(授業態度や発言等) ・記述の点検(ワークシート) ・提出物(ワークシート等)の点検 ・定期考査 ・小テスト等
9・10月	詩の楽しみ	「道程」 ・詩の鑑賞のしかたを習得する。 ・詩に込められた心情を理解する。 ・作者の人生観、自然観について考える。 「六月」 ・詩の鑑賞のしかたを習得する。 ・詩に描かれた情景とそこに込められた思いを理解する。 ・現代の社会に対する作者の考え方を捉える。	○	◎		◎	○	a: 人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付こうとしている。 b: 必要なことを、間違いなく、過不足なく聞き取っている。 d: 人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付いている。 e: 文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	・出席状況 ・行動の観察(授業態度や発言等) ・記述の点検(ワークシート) ・提出物(ワークシート等)の点検 ・定期考査 ・小テスト等

11・12月	古文入門	<p>「古文の学習」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古文を学習する意義を知り、今後の学習に意欲を持つ。 ・古文と現代文の違いを理解し、今後の学習のポイントを把握する。 ・伝統的な言語文化への興味・関心を広げ、古典を尊重し継承していく態度を育てる。 <p>「鳩と蟻のこと」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古文を声に出して読み味わい、その調べに親しむ。 ・歴史的仮名遣いを理解する。 ・文語と口語の違いを理解する。 ・古文に親しみをもち、話のおもしろさを理解する。 	○	○	◎	○	<p>a: 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。</p> <p>d: 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。</p> <p>e: 古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。</p>	
1月	漢文入門	<p>「漢文の学習」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢文を学習する意義を知り、今後の学習に意欲を持つ。 ・漢文を自国の文化に取り入れた先人の工夫を理解し、今後の学習のポイントを理解する。 ・我が国の文化と外国の文化との関係に気づき、伝統的な言語文化への興味・関心を広げる。 <p>「訓読に親しむ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢文に親しみをもち、漢字・漢語の正しい意味・用法を理解する。 ・訓読のきまり・書き下し文の決まりを理解する。 ・漢和辞典の引き方に慣れ、学習に役立てることができるようになる。 ・古代中国人のものの見方・考え方を知り、それとの比較を通して、日本文化をより深く理解する。 	○	○	◎	○	<p>a: 我が国の言語文化は、中国をはじめとする外国の文化の受容とその変容とを繰り返しつつ築かれてきたことに気付こうとしている。</p> <p>d: 文章の組み立てや骨組みを的確に捉えている。</p> <p>e: 漢文を読むことに役立つ、訓読の決まりを身に付けている。</p>	

2・3月	故事成語	「五十歩百歩」「矛盾」 ・漢文訓読の基本事項を確認する。 ・平易な短い文章を読み、漢文の内容を理解する。 ・故事成語のもとになった話の内容を捉えたうえで、故事成語の現在使われている意味について理解する。 ・古代中国人のものの見方・考え方を知り、それとの比較を通して、日本文化をより深く理解する。	○			◎	○	◎	○	a:我が国の言語文化は、中国をはじめとする外国の文化の受容とその変容とを繰り返しつつ築かれてきたことに気付こうとしている。 d:文章の組み立てや骨組みを的確に捉えている。 e: 我が国の言語文化は、中国をはじめとする外国の文化の受容とその変容とを繰り返しつつ築かれていきことに気付いている。	
------	------	---	---	--	--	---	---	---	---	---	--

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:話す・聞く能力 c:書く能力
d:読む能力 e:知識・理解

※ 評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。